

(創薬人育成のための創薬実践道場教育構築事業)
(多機能性人工エキソソーム(iTEx)医薬品化実践を通じた操薬人
育成事業)

人工細胞膜上におけるアミロイド性 タンパク質の蓄積と線維形成

講師：島内 寿徳 先生

岡山大学大学院環境生命科学研究科

日時：平成26年6月6日(金)
14:30~16:00

場所：薬学部3階 第2講義室

アミロイド性タンパク質は線維性凝集物であるアミロイドを形成し、アルツハイマー病などの疾病に関係する事が知られている。演者はこれまでに、このようなタンパク質が人工細胞膜上に蓄積される現象とその機構を研究してきた。さらに、その蓄積過程がアミロイド形成過程に影響を及ぼす事を明らかにし、アミロイド形成阻害剤設計に展開している。本講演では、創薬研究を意識した疾病動態モデルの基礎研究がいかに展開されているかを、演者の成果に基づき紹介したい。

*本講演会は創薬研究実践特論及び医薬品高分子科学講義を兼ねます

【連絡先・問い合わせ】 製剤設計薬学分野 斎藤 博幸

TEL: 088-633-7267 (内線 6270)